~アイデアをカタチに モノづくりデザイン~

府中天満屋2階をリノベーションで賑わいづくり

府中天満屋2階の一部を無償で市に寄附され、市が賑わいの拠点となる リノベーションを行っています。

"選ばれる府中市"となっていくには、内外からさまざまな人や投資を呼び込み、顔となる府中駅周辺の賑わいの再生は重要な課題です。しかし、現状は、まちなか全体、駅周辺部において、日中も夜も人通りが少なく、回遊滞留が少ない状況にあります。府中市総合計画、グランドデザインなどの中にも記載してあるとおり、これからのまちの発展を考えた時、「行ってみたい」「楽しい」と思い、いわばそれ自体が目的地となる拠点が、まちなかや駅周辺部に必要であると考えています。

玄関口になる府中天満屋2階から賑わいを市内全域に

「若者」「女性」「子育て層」をメインターゲットにしつつも、幅広い世代が目的地とし、常時人が集まることで、人が人を呼び、新たなビジネスや連携を発生させる。また、産業分野が集う「ものづくりのまち」の立地特性によるワークショップやコワーキングスペース、好奇心をくすぐるブックカフェやワークショップなど、導入する機能は、府中市らしさ、府中市ならではといったここにしかないものや、これまで府中市になかった新しい発想も検討しています。

まずは1期を整備し、2期整備は皆さんで使いながら育てていく部分も!

- ◎1期整備予定
- ▽子育てステーション(府中版ネウボラ)…子育てイベントや子育て 相談、母子手帳の交付など、休日でも利用できる窓口を設置します。 保健師、保育士、専門相談員を設置し、商業施設内の利点を活かし た家族で気軽に立ち寄れる場所とします。
- ▽自分時間を演出する都市公園をイメージした屋内広場…センターに 木漏れ日をイメージしたシンボリックなツリーを設置し、多くの世 代がくつろいだり、天候や気温に左右されることなく、安心して集 まれる場、そして、チャレンジショップやイベント、交流などが生 まれる場となります。都市公園をイメージした屋内空間は、全国で も珍しく、まさに、目的地として多くの人が集う場がまちなかに出 現します。
 - ▽キャリア5G+Wi-Fi整備…行政エリアを網羅した5G環境により、世界とつながり、映像やコンサートなどデジタルコンテンツを整備していきます。

第1回天満屋活用検討委員会を開催しました(10月30日) 主な意見

▽消費構造が物を買うことから、サービスを買う消費への変化へ。さらに、 時間を有意義に消費することも重要視すること。

▽天満屋だけを点で捉えるのではなく、市全体を面とした考えが必要です。 ▽地産地消で地元のものを使ったカフェ・レストランを置いてはどうか。 ▽子育て中のママさんの自己実現の場になり、ここに来れば、知り、学び、 意識が 開拓され、ステップアップできる場に。

▽子どもを温かく見守れる場で、安心して遊ばせることができる環境に。 ▽利用される市民の皆さんへの情報発信が重要。オープン前から関心を 持ってもらえるように。

多目的スペース

さまざまな用途が可能な多目的スペース。会議室、サテライトオフィス、テレビ会議など

妊娠・出産・子育てに関する総合ワンストップ 窓口を設置し、気軽に立ち寄れるイベントや休 日の開設により、働く保護者への支援を充実

子育てステーション

府中版ネウボラ



行政エリアを網羅した5G環境の整備(デジタルコンテンツの活用、コワーキングなどを検討)

5G環境

2 期整備を検討

コワーキングスペース

2期整備を検討

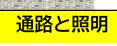
飲食 スペース



多月約スペース

飲食機能

レストランや屋内 キッチンカーなど、 食事時間を楽しむ 場所に。



通路はベビーカーも通れる ゆとりをとり、エリア全体 を屋外で感じられるような 自然光の照明を採用



くつろぎ空間

センターに、シンボリックツリーを設置し、屋外にいながら自然の中でくつろいでいる雰囲気を演出し、天候の影響も受けないので、それぞれの世代の活動時間には、常に人で賑わっている場所となります。来客を見込んだチャレンジショップの開店も可能になります。

現時点での検討案であり、今後毎月の広報紙で、活用の進捗をお伝えしていきます。

問い合わせ先 商工労働課([L 43-7190)